

国際共同研究プロジェクトクラウド領域設定マニュアル

- ご利用中お気づきの点がございましたら、テクニカルサポートボード (ml-tech-support@ml.ritsumei.ac.jp) までご連絡ください。

I. はじめに

本ドキュメントは立命館大学アート・リサーチセンター（以下 ARC）にて利用されるクラウドデータ共有システム「ownCloud」の利用・設定マニュアルになります。本ドキュメントの内容は以下の通りです：

- Webブラウザよりクラウド領域にアクセスする方法
- クラウド領域に保存されたファイルを他ユーザと共有する方法
- 手元の端末のファイルとサーバ上のクラウド領域を自動的に同期する方法

ownCloud 領域について：

各ユーザには 15GB の保存領域が確保されます。1 ファイル毎の最大サイズは 5GB となります。（それ以上の割り当てが必要な場合、テクニカルサポートボードへご相談ください）

利用方法：

Web ブラウザ (Internet Explorer, Firefox, Chrome 等最新版) からアクセスし、ファイルのアップロード、ファイルの閲覧、削除、グループ内でのファイル共有などを行うことができます。

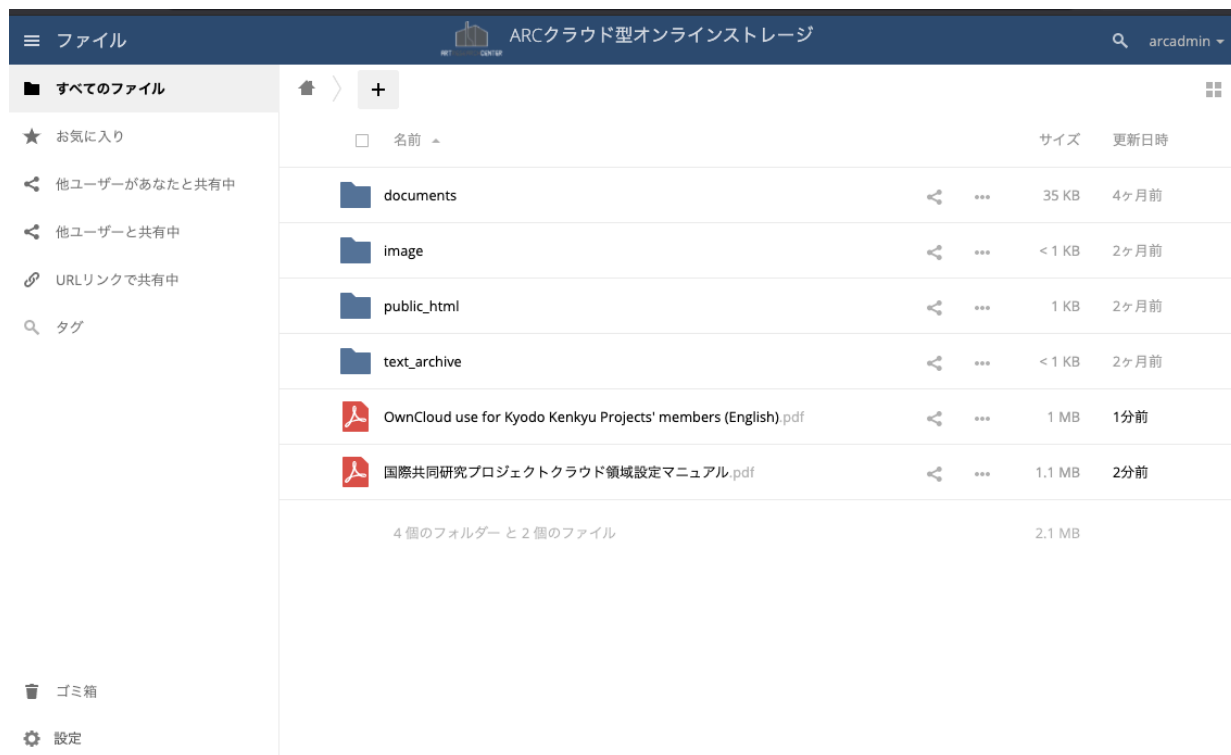
また、クライアントソフトをインストールすることで、ローカル PC のフォルダを配置することで、クラウドサーバ上のファイル配置を簡単に同期させることができます。

II. ownCloud Web 版

1. ARCクラウド領域には以下のURLより、ブラウザからアクセスすることができます。
<https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/owncloud/>
2. 予めARCからお知らせしたID, パスワードでログインしてください。

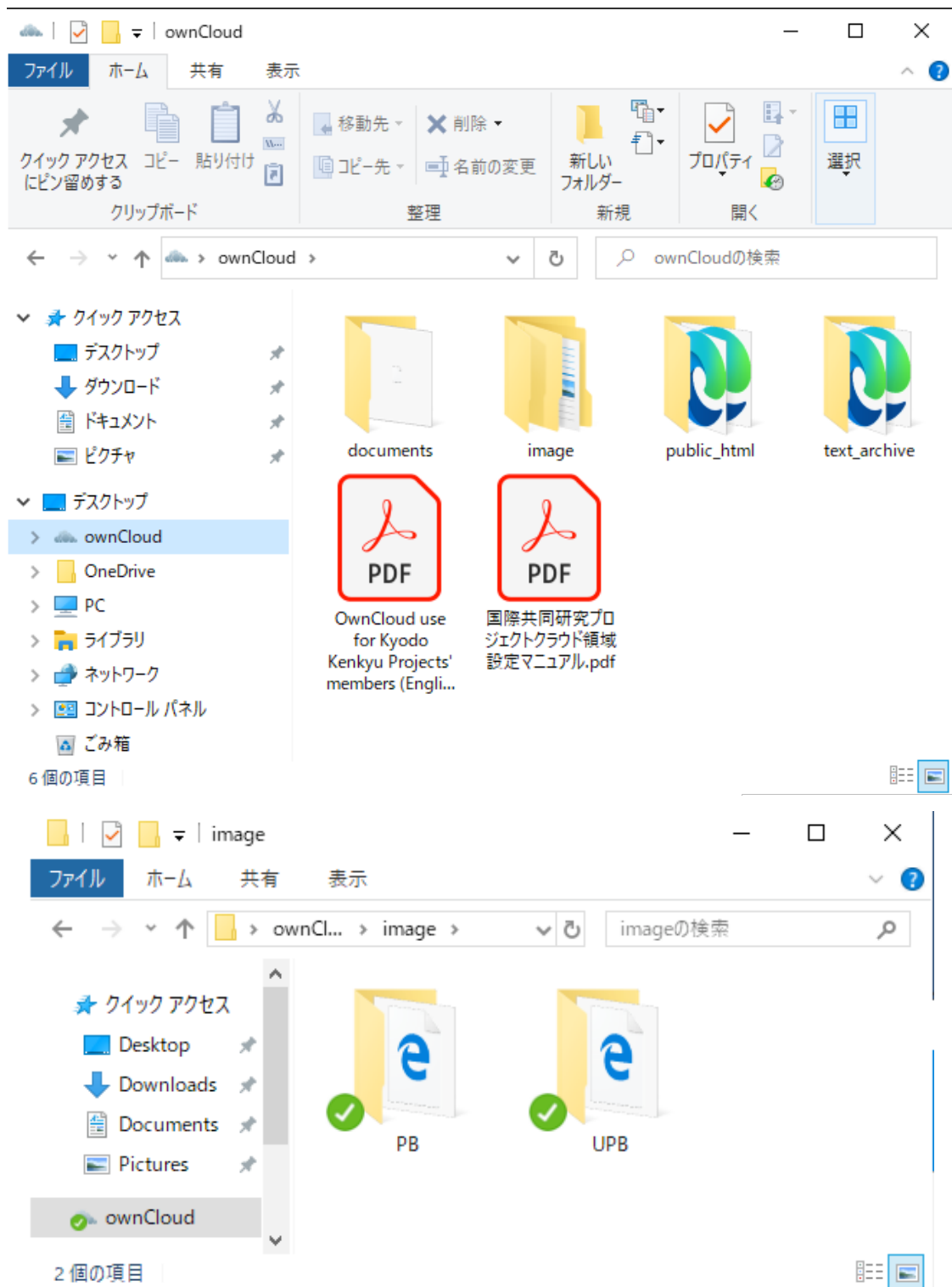


- ログインに成功しますと、ownCloud Web版の画面が表示されます。一般的なウェブサービスなどと同様、操作することができます。

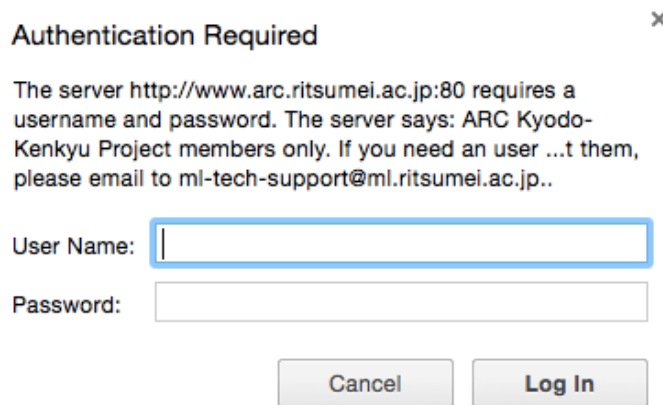


III. ユーザフォルダ

初めて ownCloud にログインした際、ユーザフォルダが自動的に作成されます。初期フォルダは「documents」「public_html」「image」「text_archive」になります。（※これらの初期フォルダは削除しないでください）「public_html」「image」「text_archive」の各フォルダにアップロードしたファイルは、外部からアクセス可能な位置に ARC ウェブサーバ上で配置されます。（ファイル公開用のスペースとしてご利用ください）



1. **documents**: 外部に公開したくない、プロジェクト内部資料などの共有フォルダとしてご利用ください。ただしdocumentsフォルダ内のファイルについても、ownCloud機能を経由したWeb共有や他ユーザとの共有機能は利用できます。
2. **image**: ARCウェブサーバに配置し、直接外部から公開アクセスさせたい画像ファイルを配置します。imageフォルダ内の初期フォルダは「PB」「UPB」になります。
 - 「image/PB」フォルダ内に配置したファイルは以下のURLからアクセスできます。
[https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/image/PB/PJ/\[ユーザID\]](https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/image/PB/PJ/[ユーザID])
 - 「image/UPB」フォルダ内に保存したファイルは、ARCウェブサーバ上で閲覧できますが、パスワードによって保護された以下のURLに配置されます。
[https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/image/UPB/PJ/\[ユーザID\]](https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/image/UPB/PJ/[ユーザID])。ユーザ名とパスワードを要求された場合、ARCより事前に通知されたID、パスワードにてログインすることができます（ID、パスワードはowncloudのものと同一です）。



Authentication Required ×

The server <http://www.arc.ritsumei.ac.jp:80> requires a username and password. The server says: ARC Kyodo-Kenkyu Project members only. If you need an user ...t them, please email to ml-tech-support@ml.ritsumei.ac.jp..

User Name:

Password:

Cancel Log In

imageフォルダ内のUPBおよびPBフォルダを削除しても、公開領域のファイルは削除されません。削除を希望される場合はテクニカルサポートボードへご相談ください。

※**image**フォルダの内容を元に、自動的にサムネイル画像が生成されます(縦240px)。このサムネイル作成処理は一時間に数回程度、定期的実施されますので、サムネイルが必要な場合はご利用ください。

自動的に生成されたサムネイル画像はARCウェブサーバに配置され、以下のURLで公開され、外部から直接アクセス可能になります。

- 「image/PB」フォルダから生成されたサムネイル画像は以下のURLからアクセスできます。
[https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/th_image/PB/PJ/\[ユーザID\]](https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/th_image/PB/PJ/[ユーザID])。
 - 「image/UPB」フォルダから生成されたサムネイル画像は以下のURLからアクセスできます。
[https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/th_image/UPB/PJ/\[ユーザID\]](https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/th_image/UPB/PJ/[ユーザID])。ユーザ名とパスワードを要求された場合、ARCより事前に通知されたID、パスワードにてログインすることができます（ID、パスワードはowncloudのものと同一です）。
3. **public_html**: ここに保存したウェブページは、以下のURLで公開されます。
[https://www.arc.ritsumei.ac.jp/PJ/\[ユーザID\]/](https://www.arc.ritsumei.ac.jp/PJ/[ユーザID]/)。トップページとして適切な内容の

index.htm を含んだウェブページを「public_html」フォルダ内には配置してください。このフォルダに対するファイルの追加、削除などは即座にARCウェブサーバに反映されますので、ファイルの取扱には十分注意してください。

各ウェブページには必ず、ファイルの文字コードを明示するmeta記述を記入してください。

(例：<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS"> など)

「public_html」フォルダに保存したアニメーション付きのPowerPointスライドショー(.ppsまたは.ppsx)ファイルは、以下のURLで表示されます。[https://www.arc.ritsumei.ac.jp/PJ/\[ユーザID\]/\[ファイル名\].ppsx_view](https://www.arc.ritsumei.ac.jp/PJ/[ユーザID]/[ファイル名].ppsx_view)。ファイル名と拡張子の最後に「_view」を追加してください。上記のURLで表示できる最大ファイルサイズは**10MB**です。

4. **text_archive**: 「text_archive」フォルダ内に配置したファイルは以下のURLからアクセスできます。[https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/text_archive/PJ/\[ユーザID\].](https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/text_archive/PJ/[ユーザID].) 「text_archive」フォルダ内に配置したファイルはインデックス付けられ、以下のURLで検索可能になります。https://www.arc.ritsumei.ac.jp/text_archive/

各フォルダの用途（画像用、Web サイト設置用）、アクセスコントロール（プライベート、公開、パスワード付き公開）を間違えないよう、ご活用ください。

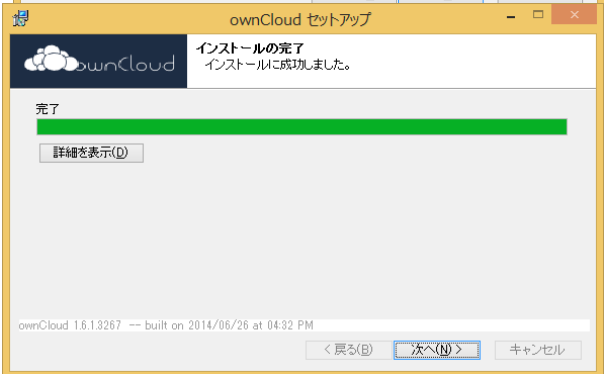
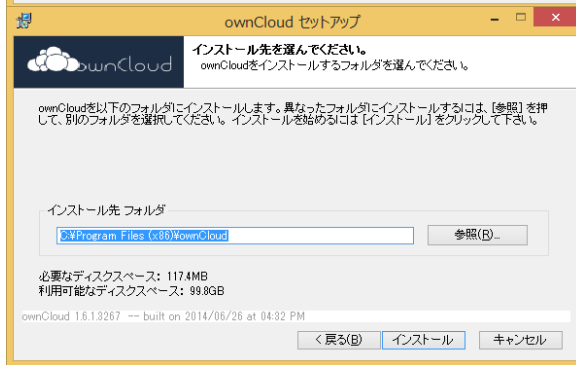
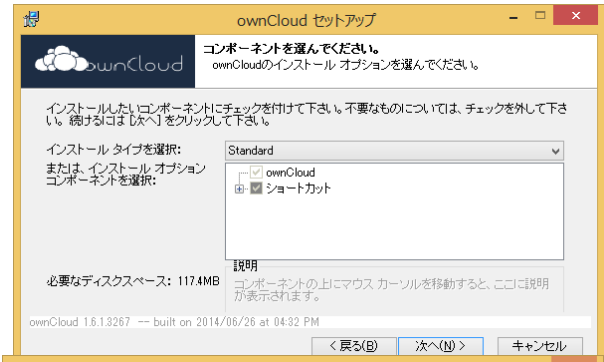
例えば、ユーザ ID 「abc」の方がフォルダ AAA の画像 AAA001-01.jpg を公開したい場合、/image/PB/の中に「AAA」フォルダを作成し、AAA001-01.jpg をアップロードします。その画像 URL は <https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/image/PB/PJ/abc/AAA/AAA001-01.jpg> として公開されます。

IV. クライアントソフトのインストール

さらに手軽にファイル共有を利用したい場合には、<https://owncloud.org/install/> から Windows, Linux, MacOS のクライアントソフトをダウンロードすることができます。iOS 対応アプリ、Android アプリもそれぞれ各ストアからダウンロードすることができます（有料/無料）。

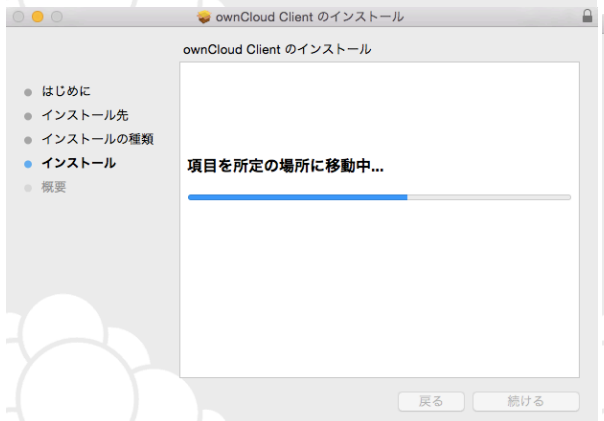
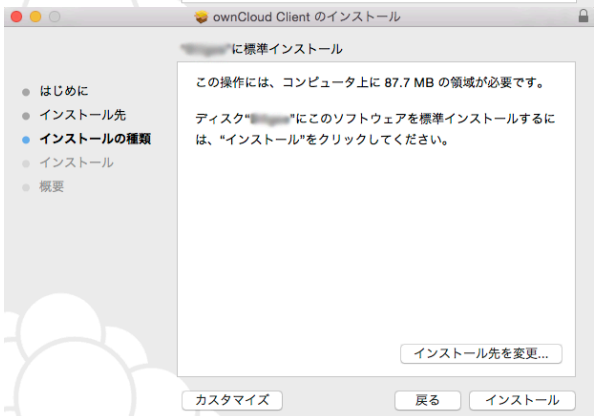
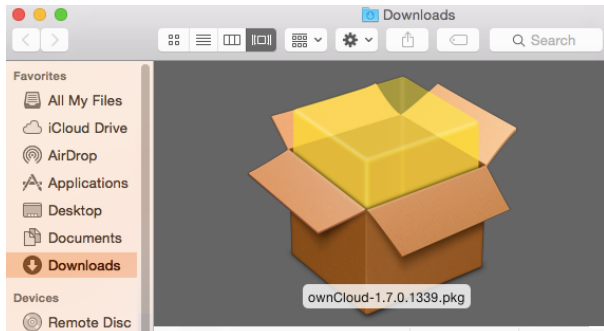
a. Windows 用デスクトップクライアントのインストール

1. <https://owncloud.org/install/>の「Install Desktop Clients」からダウンロードします。
2. ownCloud-(バージョン番号)-setup.exeを起動し、各設定は特に変更せず「次へ(N)>」をクリックし、「インストール」します。
3. 「セットアップウィザードは完了しました」と表示されましたら、「ownCloudを実行(R)」にチェックがついた状態のまま、「完了(E)」をクリックしてください。デスクトップクライアントが起動します。



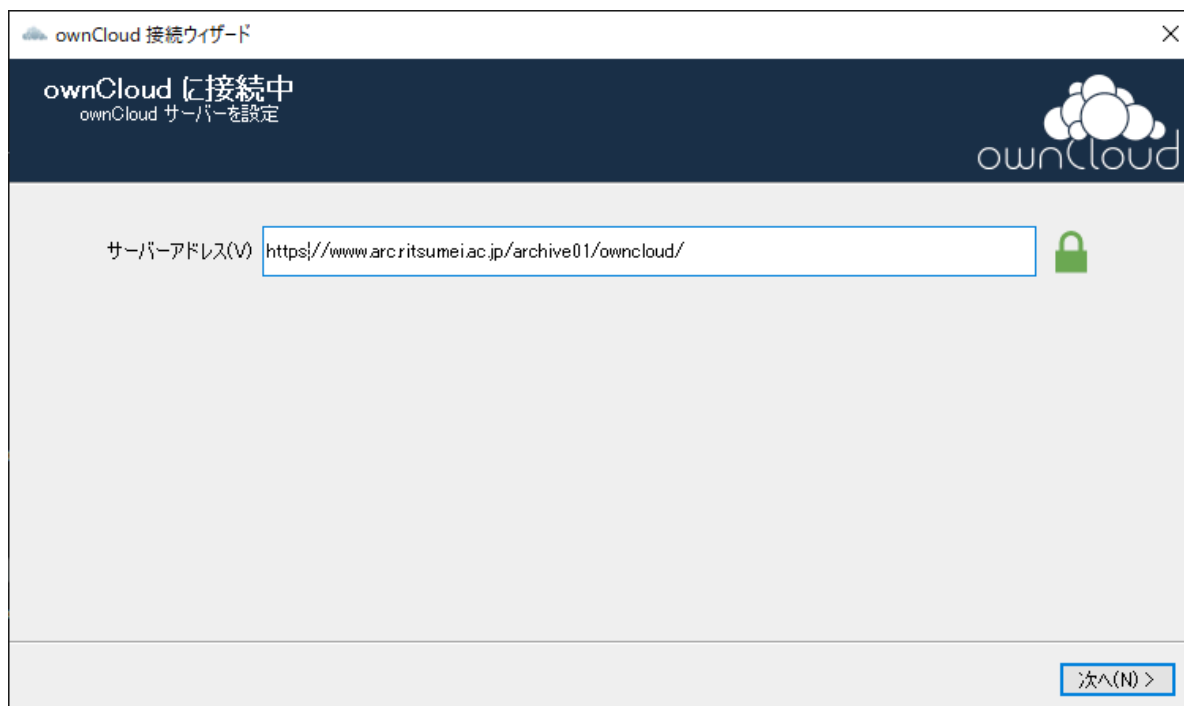
b. MacOS デスクトップクライアントのインストール

1. <https://owncloud.org/install/>の「Install Desktop Clients」からダウンロードします。
2. .pkgファイルをダブルクリックし、各設定は特に変更せず「続ける」をクリックし、「インストール」します。
3. 「インストールが完了しました。」画面が表示されましたら、「閉じる」をクリックしてください。



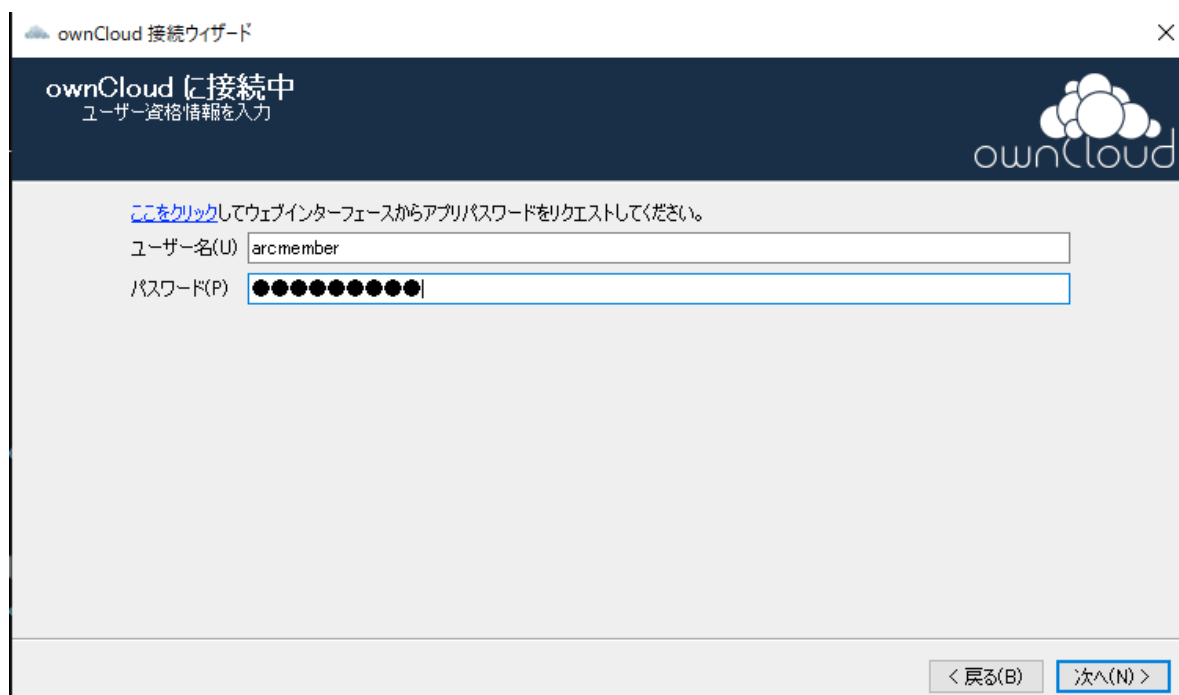
V. ownCloud 接続設定

1. サーバアドレス : <https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/owncloud>



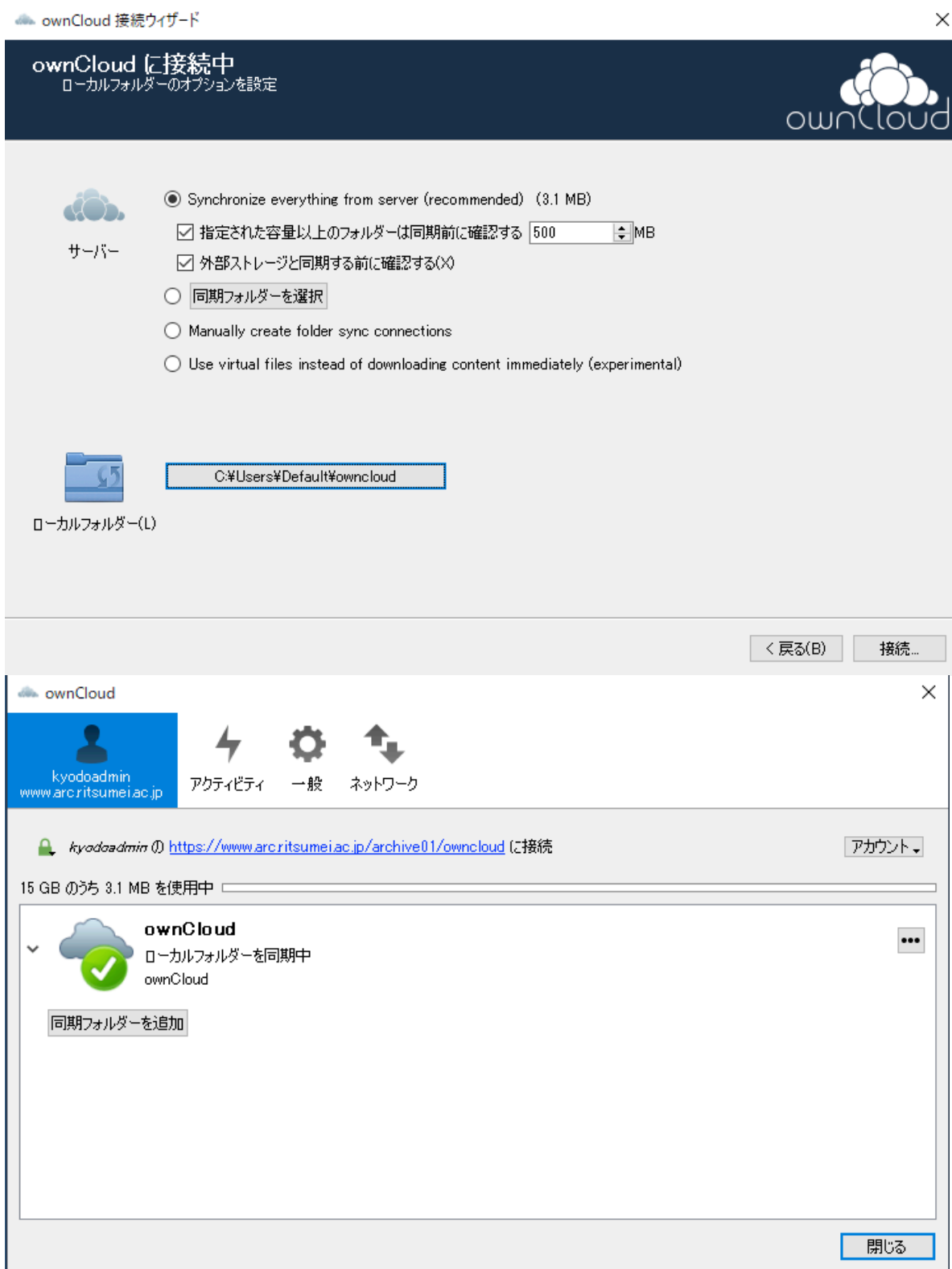
The screenshot shows a window titled "ownCloud 接続ウィザード" (ownCloud Connection Wizard). The main heading is "ownCloud に接続中" (Connecting to ownCloud) with the subtitle "ownCloud サーバーを設定" (Setting up ownCloud server). The ownCloud logo is in the top right. A text input field labeled "サーバアドレス(V)" (Server address) contains the URL "https://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/owncloud/". A green lock icon is to the right of the field. At the bottom right, there is a button labeled "次へ(N) >" (Next >).

2. ユーザ名とパスワードを入力してサーバへログインします。



The screenshot shows the same "ownCloud 接続ウィザード" window. The main heading is "ownCloud に接続中" (Connecting to ownCloud) with the subtitle "ユーザー資格情報を入力" (Enter user credentials). The ownCloud logo is in the top right. A blue link says "ここをクリックしてウェブインターフェースからアプリパスワードをリクエストしてください。" (Click here to request an app password from the web interface). Below are two input fields: "ユーザー名(U)" (Username) with the text "arcmember" and "パスワード(P)" (Password) with masked characters. At the bottom right, there are two buttons: "< 戻る(B)" (Back) and "次へ(N) >" (Next >).

3. ローカルの同期フォルダを指定します。デフォルトローカルの同期フォルダはownCloudとなっています。このフォルダは各PCのユーザホームフォルダに作成されます。



- ここまでの設定が完了しましたら、先に設定したownCloudフォルダ内にファイルを配置することで、デスクトップクライアントの機能により、自動的にクラウド領域にファイルをアップロードすることができます。

ブラウザからも同様にログインし、ファイル进行操作することができます。(Dropboxのように利用できます)